

大学等番号

278

## 平成20年度「戦略的大学連携支援事業」申請書

## 1 基本情報

申請区分	1・ 総合的連携型(地元型) 1・ 総合的連携型(広域型) 2 教育研究高度化型		
設置形態	1 国立 2 公立 3 私立	地域	信越・北陸(新潟)
代表校名	新潟青陵大学		
連携校名	新潟大学(1)、新潟県立看護大学(2)、敬和学園大学(3)、長岡大学(3) 新潟医療福祉大学(3)、新潟薬科大学(3)、新潟リハビリテーション大学院大学(3) 新潟青陵大学短期大学部(3)、明倫短期大学(3)		
関係自治体・ 経済団体等名	新潟県総務管理部 新潟県福祉保健部 新潟県教育委員会 新潟県看護協会		

事業期間	平成20年度～22年度(3年間)		
取組名称 (40字以内)	共生型大学連携による新潟県の人材確保・養成の短期的及び包括的施策による地域貢献		
キーワード (重要度の高い順に5つ以内)	共生的連携、次世代を担う人材の確保と養成、大学間タスクフォース、包括的施策、エンロールメント・マネジメント		

## 連携取組の概要

新潟県では、若年層の人口流出を防ぎ、次世代を担う人材の確保と養成のための方策が求められている。

本取組では、短期的な取組として、まず将来的な看護職の人材不足解消を大学間タスクフォースで対応する。その後は医療従事者など同様の課題について、柔軟な対応ができる体制をめざす。また包括的施策として、在学生、卒業生、中高生、地域社会などに対して「エンロールメント・マネジメント」の手法を取り入れたキャリア教育・形成・支援事業を、新潟県の特色も踏まえながら推進する。

その実現のためには、大学が個性を伸ばしつつ、共生的連携の中で大学及び教職員の質を向上させる活動を、スケールメリットを生かして取り組む。それにより教学・経営両面での効率化と相乗効果を生み出し、そのことが新潟県における本取組の価値を高め、共生型大学連携を将来的には全ての高等教育機関の連携をめざし、地方での高等教育機関の新しいあり方を示すものである。【399字】